

令和4年度第1回

6次産業化・地産地消推進協議会

令和5年3月24日（金）

幕別町役場3階3AB会議室

議 事 録

幕別町経済部農林課農政係

令和4年度第1回  
6次産業化・地産地消推進協議会

議事日程

(令和5年3月24日(金)午後1時15分開会)

1 開 会

2 議 件

- (1) 議案第1号 幕別町6次産業化・地産地消推進協議会会長の選任について
- (2) 議案第2号 幕別町6次産業化・地産地消推進協議会副会長の選任について
- (3) 議案第3号 幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について

3 その他

4 閉 会

# 議 事 録

令和4年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会

- 1 日 時 令和5年3月24日（金）午後1時15分～午後2時00分
- 2 場 所 幕別町役場3階3AB会議室
- 3 出席者 （13名）鈴木 雅則、池田 英樹、太刀野 真、藤原 昇  
牛腸 健司、小笠原 保、岩谷 史人、宮森 秀樹、橋坂 英樹  
高橋 修二、西嶋 慎、半田 健、鯨岡 健
- 4 欠席者 （5名）安部 史郎、田中 洋人、福田 隆行、折笠 健、仲島 亮介
- 5 事務局 経済部長 岡田 直之、  
農政係長 小野 敦、農政係主任 高田 麻菜美

## 議 事 の 経 過

(13 : 15開会)

(岡田部長)

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

会議に先立ちまして、飯田町長から委嘱状の交付を行います。

順次、お名前を申し上げますので、その場でご起立ください。

【飯田町長より、委嘱状交付】 ※左側より時計回り

(岡田部長)

続きまして、飯田町長から、ご挨拶を申し上げます。

【飯田町長挨拶】

(岡田部長)

会議に入ります前に、今年度初めての会議でありますので、委員の皆さまから簡単な自己紹介をいただきたいと思います。

なお、委員名簿は、議事次第の裏面に記載しておりますので、こちらをご覧ください。

それでは、鈴木委員から時計回りで、お願いいたします。

【委員自己紹介】

(岡田部長)

ありがとうございました。

次に、事務局を紹介いたします。

私、幕別町 経済部長の岡田です。よろしくお願ひいたします。

同じく事務局の小野です。

同じく事務局の高田です

(岡田部長)

これより、令和4年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会を開会いたします。

会議は、会長が選任されるまでの間、飯田町長が議長を務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

(飯田町長)

それでは、議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消推進協議会会長の選任について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

(事務局 小野)

議案第1号「幕別町6次産業化・地産地消推進協議会 会長の選任について」ご説明申し上げます。

議案書の1ページをご覧ください。

幕別町附属機関設置条例第5条第1項の規定に基づき、幕別町6次産業化・地産地消推進協議会委員の互選により、会長を選任するものであります。

議案説明資料の1ページをご覧ください。

はじめに、幕別町6次産業化・地産地消推進協議会の設置目的等について、ご説明申し上げます。

幕別町6次産業化・地産地消推進協議会は、条例第2条 別表に基づき、町長の附属機関として設置するもので、所掌事務を「町内における6次産業化、農商工連携及び地産地消の取組に関する市町村戦略の策定及び市町村戦略に基づく事業の推進についての協議に関すること。」と定めており、委員の定数は18人以内、任期は2年と定めております。

条例第5条第1項では、会長の選任は、委員の互選によるものとなっております。

議案説明資料の2ページをご覧ください。

委員は、幕別町6次産業化・地産地消推進協議会規則第3条別表に掲げるとおりで、農協をはじめとした農業関係団体、商工会、6次産業化などに取り組む実践者又は団体、金融機関などで構成されており、議事次第の裏面に委員名簿を記載しておりますが、こちらの18名から委員の互選により選任していただくこととなります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

(飯田町長)

ただいま、事務局から説明がありましたように、会長は、委員の互選によるものとされておりますが、会長の選任につきまして、どのような方法で行ったらよろしいでしょうか。

(藤原委員)

指名推薦がよろしいかと思えます。

(飯田町長)

ただいま、藤原委員から指名推薦でとの提案がございましたが、よろしいでしょうか。

【「はい」の声あり】

(飯田町長)

それでは、どなたがよろしいでしょうか。

(藤原委員)

引き続き、岩谷委員を推薦します。

(飯田町長)

岩谷委員という推薦がありました、いかがでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

(飯田町長)

それでは、会長は引き続き、岩谷委員とすることで決定いたします。

会長が選任されましたので、以降の議事進行は、岩谷会長にお願いいたします。

(岡田部長)

会長が選任されましたので、飯田町長は、ここで退席させていただきます。

【飯田町長 退席】

(岡田部長)

それでは、岩谷会長、席の移動をお願いいたします。

【岩谷会長 着席】

(岡田部長)

それでは、岩谷会長に一言ご挨拶をいただきたいと思えます。

【岩谷会長挨拶】

(岡田部長)

ありがとうございました。

それでは、以後の進行は、岩谷会長にお願いいたします。

(岩谷会長)

それでは、「議案第2号 令和4年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会副会長の選任について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

(事務局 小野)

議案第2号「幕別町6次産業化・地産地消推進協議会 副会長の選任について」ご説明申し上げます。

議案書の2ページ、議案説明資料の1ページをご覧ください。

議案第1号の会長と同様に、副会長の選任につきましても、条例第5条第1項の規定に基づき、委員の互選によるものとされております。

このことから、先ほど決定した岩谷会長を除く17名の委員の中から、互選により選任していただくこととなります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

(岩谷会長)

ただいま、事務局から説明がありましたが、副会長につきましても、会長職と同様に委員の互選によるものとされております。

副会長の選任につきまして、どのような方法で行ったらよろしいでしょうか。

(小笠原委員)

会長指名がよろしいかと思えます。

(岩谷会長)

ただいま、小笠原委員から会長指名でとの提案がありましたが、いかがでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

(岩谷会長)

それでは、前回と同様にJA幕別町営農部長にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

(岩谷会長)

それでは、本日欠席されておりますが、副会長は安部委員とすることで、決定いたします。

続きまして、議案第3号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

(事務局 小野)

議案第3号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」ご説明申し上げます。

議案説明資料の3ページと参考資料1の「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略」をあわせてご覧ください。

はじめに、「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略」、いわゆる市町村戦略について簡単にご説明申し上げます。

市町村戦略の1ページ中段に記載してありますが、市町村戦略は、国内だけでなく、国

際的に産地間競争が激しくなっている背景を踏まえ、「地域資源を生かした独自の価値を発信していく取組」と、安全で良質な農畜産物等を安定的に供給し、その競争力をさらに高めていくために、「地産地消や地域ブランドの確立に向けた取組」といった目標を具体的に実現するための方策を明確にし、農業を核として産業間での連携を強め、地域全体の活性化を図ることを目的とした方策を示すもので、平成30年度に開催した本協議会を経て、平成31年3月に策定しております。

次に、市町村戦略の2ページになりますが、市町村戦略の計画期間は、令和元年度から5年間の計画であります。

市町村戦略の推進体制と進行管理として、市町村戦略を確実に推進するため、毎年度、これは、例年3月に開催する本協議会においてであります、実施状況を検証し、必要に応じて内容を見直すことでより実効性を高め、期間内に成果目標を確実に達成することを目指すこととなっております。

次に、幕別町の重点を図るべき農畜産物として、市町村戦略の7ページから8ページに記載してありますが、7ページ上段から、和稔じょ、インカのめざめ、ゆり根、8ページの有機JAS認定農産物、十勝ロイヤル・マンガリツツア豚、どろぶた、シュベービッシュ・ハル豚の7品目を定めております。

現状と課題を踏まえた6次産業化等の推進方策については、市町村戦略の9ページから10ページに記載してありますが、人材育成や6次産業化・農商工連携の促進、地産地消の推進、食農教育・食育活動の推進、そして、販路の拡大、地域ぐるみの新商品開発プロジェクト、有機JAS認証農産物及び加工品の7つの方策を市町村戦略に掲げております。

次に、6次産業化等の成果目標について、検証の結果をご説明申し上げます。

議案説明資料の3ページをご覧ください。

「5 6次産業化等の成果目標」であります、はじめに、(1)幕別町におけるグリーンツーリズム施設等の交流人口と観光プランについて、①年間交流人口は、人数の把握が出来る観光施設として、道の駅・忠類、アルコ236、ナウマン象記念館の令和3年度の入込客数を集計しております。令和3年度実績は、目標値を大きく下回っておりますが、これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光施設の入込客数が令和2年度に続き、減少傾向にあることが原因であります。

また、②農泊（ファームトリップ）を受け入れする農家戸数についてであります。令和4年度実績が9戸で目標値を大きく下回っておりますが、これも、新型コロナウイルス感



染症の影響を受け、「まくべつ稔りの里」が実施する農村ホームステイ事業が令和4年度から、宿泊を伴わない日帰り体験での実施となったためであります。

③の観光プランの累計件数についても、前年度実績と同様に5件と目標値を下回っている状況であります。

次に、(2)幕別町における新商品開発取組事業所等の件数ですが、令和4年度実績は7件と、前年度実績から2件増加しております。まだ、目標値には達しておりませんが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、新商品開発に取り組む意欲的な事業所等は着実に増えていると思われまます。参考資料3をご覧ください。事業の活用事例として、今年度に2件補助金の交付決定をいたしました有限会社木川商店様の「黒毛和牛とゆり根の釜飯」、そして、有限会社サカモト食品様の「十勝の牛肉と野菜の煮込みハンバーグ」の開発商品の写真を掲載しておりますのでご参照ください。

今後も新たな特産品の開発及び販売を促進し、これらの情報発信をすることで新商品を開発する事業所や経営体を支援していくものであります。

議案説明資料の4ページをご覧ください。

(3)幕別町における加工施設等の新設件数と一般労働者の雇用創出数についてですが、令和元年度に国の「食料産業・6次産業化交付金」を活用し、有限会社ベルセゾンファームが有機JAS認証農産物を使用した加工施設を整備しておりますが、その後は新たに加工施設等の新設はなく、引き続き、情報収集の強化を図り、企業誘致の実現と既存企業の育成支援に努めるとしております。

また、一般労働者の雇用創出については、一部の加工品の製造を令和2年度から開始しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、他の加工品の製造が遅れており、本格的に稼働していないことから、令和4年度においても新たな雇用の創出はなく、いずれも目標を達成することができませんでした。

次に、(4)幕別町における農業者等の総合化事業計画の認定件数につきましては、現在、新たに計画作成するには至らず、目標の5件は達成できませんでした。

(5)加工製品の原材料となる農産物の作付面積の増加の効果についてであります。一つの◎重点を図るべき農畜産物の作付面積につきましては、各年度の目標は設定していませんが、和稔じよは、横ばい傾向で、インカのみざめは、JA幕別町において、令和元年度から加工品の製造を開始したことから、平成30年度の作付面積と比較して年々増加傾向となっております。

二つ目の◎有機 J A S 認証農産物の作付面積で加工品群の原材料となる分の面積につきましても、各年度の目標は設定しておりませんが、先程ご説明したベルセゾンファームの加工施設で一部の加工品の製造を令和2年度から開始しており、④ミニトマトの作付面積が昨年度に続き、目標値を上回っております。その他の加工品についても、現在、開発を進めており、①馬鈴薯、②豆類、③トマトの目標達成に向け、引き続き取り組んでいくこととしております。

なお、参考資料4の1枚目として、有限会社ベルセゾンファームの食料産業・6次産業化交付金に係る実施状況報告書より、加工品9品目の開発までの進捗状況を掲載しております。まず、①有機マスタード、②マヨネーズ風調味料（マヨディップ）、そして、⑨ミニトマトジュースについては、すでに令和3年8月に開発を完了し、通販サイト等で販売しています。また、③ドレッシングから⑥ピクルスまでの4品目については、令和5年3月に開発済であり、今後、発売を進めていく予定であります。⑧ソイミルクジャムについては、新型コロナウイルスの影響で事業計画に遅れが出ておりますが、令和5年12月を目途に開発を完了する予定で進めており、また、⑦蒸し豆については、レトルト殺菌釜の調整が難しく専門家に依頼をして開発を行う予定であり、令和6年6月を目途に開発を完了する予定で進めております。

次に、下の表の令和3年度実績に係る事業実施状況の点検結果及び評価といたしまして、北海道については、「コロナの影響により加工品の製造が遅れているが、コロナ収束後に販路拡大等を推進できるように販売と開発・製造体制を企業と連携し、早期の事業目標達成に向けて取り組んでもらいたい」としており、農政事務所については、「コロナによる行動制限等も大幅に緩和され、経済活動も変わりつつあることから、加工品の製造・販売が進められるよう、また、有機 J A S 認証製品の特徴等を活かせるような、状況に応じた販路拡大等の営業活動等を行えるよう、現状を把握していただき目標達成に向けてご指導されたい」と評価しているところであります。

本協議会においても、毎年、成果目標の点検及び評価を行うとしておりますが、事務局としては、北海道の評価と同様に、早期の事業目標達成に向けて取り組むこととして評価をしたいと考えております。

また、参考資料4の2枚目として新聞記事を添付しておりますが、ただ今ご説明した、有限会社ベルセゾンファームのオーガニックマスタードが今年度の「北海道加工食品コンクール」で最高賞の北海道知事賞に選ばれ、さらに、3枚目には、同じくオーガニックマ

スタードとチーズ工房NEEDSの「大地のかがやき」が北海道の「北のハイグレード食品」に選定されたということで、今後、道内外において更に流通拡大が期待されます。

以上で「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」の説明とさせていただきます。

よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

(岩谷会長)

ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等はありませんか。

【質疑・応答なし】

(岩谷会長)

質疑がないようですので、議案第3号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

(岩谷会長)

異議がないようですので、議案第3号「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略の点検及び評価について」は、原案のとおり決定いたしました。

(岩谷会長)

次に、「3 その他」であります。事務局から何かありますか。

(事務局 小野)

本協議会の構成員の皆様の中で、本年4月1日付け人事異動により委員の変更がある場合は、在任期間である令和7年3月23日までの間、引き続き、後任の方に協議会委員を委嘱させていただきたいと考えておりますが、承諾書の送付や委嘱状の交付日程などにつきましては、改めて4月以降にご連絡させていただきます。

また、「幕別町6次産業化・地産地消等推進戦略」の計画期間が令和5年度までの5年間の計画であり、令和5年度は次期計画の策定が見込まれますことから、年度内に2回、協議会の開催を予定しておりますので、引き続き、宜しく願いいたします。

以上となります。

(岩谷会長)

皆様方から何かございませんでしょうか。

【質疑・応答なし】

(岩谷会長)

それでは、以上をもちまして、令和4年度第1回幕別町6次産業化・地産地消推進協議会を閉会いたします。お疲れさまです。